

- 出石中学校区小中一貫教育の『めざす子ども像』を位置づけているもの（二重線）
- 昨年度からの変更点（下線）

令和3年度 学校経営方針

1 校訓

強く 明るく うるわしく

2 学校教育目標

もう一つ上の自分に！
～ 笑顔あふれる弘道っ子 ～

3 令和3年度重点目標

自分から進んで ・ 最後まであきらめない ・ みんなと協力して

- 強く・・・（体） 自ら進んで行動し、最後までねばり強く取り組む子
- 明るく・・・（知） 明るく積極的に学び、自分の考えを表現できる子
- うるわしく・・・（徳） ふるさとを愛し、誰とでも助け合える子

4 経営の基本方針

「あたまの力、こころの力、からだの力」バランスのとれた教育の実践

(1) あたまの力・・・思考する力・対話する力を培い、確かな学力を身につける

－ 自分の考えをもち、友だちの考えを聴き、考えを磨き合う児童へ！ －

（「対話で学びを深める授業づくり」・・・主体的・対話的で深い学びへ）

【そのために】

- 学びにひたる授業の実施・・・学ばせ方、空間・環境、人間関係、導入の工夫等
- R学習を活かし、全員が授業に参加でき、学ぶ喜びを感じることのできる授業の創造
- 自分の考えをもち、友だちの意見と比較しながら聴き、ずれについて話し合う（対話）
- 学習規律の徹底（聴く、姿勢〔体幹を鍛える〕、学習ルール）
- 授業における5つの「徹底・継続」実践事項の徹底
 - ・「めあて」と「ふり返り」の質の向上
- 外国語・コミュニケーション教育の推進
- 読書活動の充実（団体貸出しの積極的な利用、PTAと連携した家読の家庭への啓発・推進）

(2) こころの力・・・自尊感情を高めるとともに、相手の気持ちを察する心を培う

－ 自分が好き。誰とでも協力し合える児童へ！ －

【そのために】

- 褒めることを大切にした肯定的な関わり（褒める種を蒔く）
- 一人一人の心に寄り添った関わり（いじめの早期発見とチームでの対応、面談の重視）
- 道徳教育の充実（子どもの変容の記録）
- こころを目に見える形にする（行動や言葉に表す）
- 地域との関わりの重視（地域への感謝の念をもち、地域に役に立つことを考え、実践する）
- 体験を通した学び（直接体験、間接体験）
- あきらめないこころを育む（がまん・たえる・続ける）

(3) からだの力・・・課題を明確にし、挑戦し、継続する力の育成

－ へこたれない、つよい児童へ！ －

【そのために】

- 運動と学習をセットにした豊岡モデルの推進（運動⇒きりかえ⇒集中）
- 豊岡市版小学校体育準備運動の継続実施
- 睡眠の重視（規則正しい生活習慣）…生活定着週間とのリンク
- 強いからだを育む取組の継続【体幹を鍛える】（チャレンジ・へこたれない）

(4) 支援の要らない子は一人もいない（特別支援教育の充実）

－ 個に対する支援シートによる実態把握と具体的な支援！ －

【そのために】

- 一人ひとりの子どもの特性への理解（観察、面談、会話、アセス）
- アセスメントと長期目標・中期目標・短期目標の設定
- ケース会議による具体的な取組の計画と評価
- チームで対応

(5) 歴史あるふるさと出石に誇りをもち、「出石が大好き」な子どもの育成

－ 出石のよさに気づき、発信！ －

【そのために】

- 出石の歴史、伝統文化、産業、自然環境と直接にふれ合える体験活動の展開
- 学びの足あとを残す（デジタル・ポートフォリオ）
- 地域素材の教材化、地域人材の活用（ゲストティーチャー）等、幅広い教育活動の展開
- ふるさと出石を愛し、自分の言葉でふるさと出石のよさを語れる児童の育成

(6) いのちを大切に安全・安心な取組の実施と教育環境づくり

－ ひとつしかないいのちを守る！ －

【そのために】

- 大切な自分のいのちは自分で守る力の育成
- 規範意識の醸成（こころにブレーキ）
- 安全・安心な教育環境の整備
- メモリアルデーを中心とした防災教育の推進（自分で考え、行動する力を培う）

(7) 保護者や地域から信頼され、支えられる学校へ（内外に学校を開く）

－ 情報の共有と発信！ －

【そのために】

- 家庭や保護者、地域の声を真摯に受け止める（ひびき合う関係づくり）
- 「弘道っ子の元気」の積極的な発信（ホームページ・ブログ・学校便り・学年・学級通信）
- 小中一貫教育の取組の推進と情報提供
- 関係機関や地域と連携した取組の推進
- 地域と一体となった特色ある学校づくりの推進（コミュニティ・スクール）